

事業項目	令和7年度事業 重点項目	令和7年度 事業計画	令和7年度 上半期報告
①総合相談支援業務	<p>【総合相談】 ○地域住民や関係機関への総合相談窓口の周知 ○住民の複雑化・複合化した支援ニーズに、専門性を活かした相談対応</p> <p>【地域包括支援ネットワークの構築】 ○既存のネットワークの活用と、新たなネットワークの構築 ○地域包括ケアシステム充実のために関係機関や地域の支援者との協働</p> <p>【実態把握】 ○地域の実態について情報収集し、地域ニーズに応じた取り組みの実施</p>	<p>【総合相談】 ○地域住民や関係機関へ総合相談窓口の広報活動 ○公民館等での総合相談窓口の開催 ○ネットワークを活用した連携により、センター外の他機関の専門職とも協力して、個別ニーズに対応した支援を行う ○研修受講により職員のスキルアップを図る</p> <p>【地域包括支援ネットワークの構築】 ○行政との連携 ○東部圏域の生活支援コーディネーターや民生委員、関係機関との協力体制の構築 ○サービス担当者や地域の支援者と繋がり、最新の情報を収集して相談事例への的確な対応ができる体制づくり</p> <p>【実態把握】 ○生活支援コーディネーターや民生委員、公民館や駐在署等との情報交換の実施 ○高齢者サロン等の地域活動を訪ね、高齢者や関係者への聴取から地域実態を把握する</p>	<p>【総合相談】 ・高齢者の通いの場（サロンや趣味の教室）、地域ボランティアの会合、社明大会へ出向き、広報活動の実施 ・社会福祉協議会、成年後見人、医療機関等と連携し、支援している ・新規相談件数 81件 対応総件数 801件</p> <p>【地域包括支援ネットワークの構築】 ・担当民生委員と連絡を取り合いながら、相談事例に対応 ・高次脳機能障害ネットワーク会議へ出席 ・包括的相談支援事業所意見交換会へ出席</p> <p>【実態把握】 ・高齢者の通いの場や民生委員定例会を訪ね、地域状況の把握に努めている</p>
②権利擁護業務	<p>【高齢者虐待への対応】 ○相談・通報への早期対応、益田市総合支援課や関係機関との迅速なチーム支援の実施</p> <p>【判断能力を欠く常況にある人への支援】 ○権利擁護の観点での支援の充実 ○関係機関等と連携しながら、個別事例への対応</p> <p>【消費者被害の防止及び対応】 ○消費者被害を予防する地域づくり</p> <p>【広報・啓発活動】 ○権利擁護に関する各種制度の普及啓発を実施</p>	<p>【高齢者虐待への対応】 ○相談や通報時の迅速な情報収集を行い、高齢者虐待対応フローチャートに基づきチーム内の役割分担をして支援を迅速に開始する ○コア会議や権利擁護推進会議で関係職種と支援方針を検討</p> <p>【判断能力を欠く常況にある人への支援】 ○益田市への相談、法律専門職との連携、成年後見制度利用の支援の実施 ○認知症疾患医療センターとの連携や早期受診への支援 ○認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームとの連携・協働 ○益田市権利擁護推進会議への出席</p> <p>【消費者被害の防止及び対応】 ○消費者センターや警察署等の関係機関との連携 ○住民への消費者被害防止の普及啓発</p> <p>【広報・啓発活動】 ○認知症高齢者の相談窓口であることの広報活動 ○住民へ認知症理解への普及啓発 ○地域活動等に出向き、権利擁護に関する各種制度の広報</p>	<p>【高齢者虐待への対応】 ・コア会議 5回出席</p> <p>【判断能力を欠く常況にある人への支援】 ・成年後見人と連携し、支援をしている ・益田圏域認知症支援懇話会へ出席 ・益田市権利擁護推進会議へ出席</p> <p>【消費者被害の防止及び対応】 ・研修受講（地域見守りネットワーク、消費者問題）</p> <p>【広報・啓発活動】 ・相談窓口のチラシ掲示や通いの場等での配布 ・フレイル予防の講座の中に、認知症啓発を含めて実施</p>
③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	<p>【関係機関の連携体制構築支援】 ○地域包括ケアシステム充実のための、フォーマル・インフォーマルサービス等の社会資源担当者との連携体制作り</p> <p>【介護支援専門員に対する支援】 ○介護支援専門員が抱える課題について後方支援 ○研修開催</p> <p>【主任介護支援専門員との連携】 ○地域のケアマネジメント力向上のための連携</p>	<p>【関係機関の連携体制構築支援】 ○社会資源担当者との連携体制の維持・向上 ○総合事業の住民主体サービス担当者とのネットワーク強化</p> <p>【介護支援専門員に対する支援】 ○介護支援専門員からの随時の相談対応、ネットワークを活用しながら支援方法の検討、直接的・間接的な後方支援 ○ケアマネジメント支援研修の開催（研修委員会）</p> <p>【主任介護支援専門員との連携】 ○ケアマネジメント支援研修の協同開催（研修委員会）</p>	<p>【関係機関の連携体制構築支援】 ・移動販売や介護タクシー等のインフォーマルサービス担当者との顔合わせや連絡の実施 ・まだ福祉医療ネットワークへ参加</p> <p>【介護支援専門員に対する支援】 ・後方支援 新規 2件 ・介護支援専門員と他機関の専門職を繋ぐ支援を行った ・ケアマネジメント支援研修の開催（難病）</p> <p>【主任介護支援専門員との連携】</p>

④介護予防ケアマネジメント	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○心身の状況や置かれている環境に応じて自らの選択に基づいたサービス利用ができるよう、介護予防支援・介護予防ケアマネジメントを実施</li> <li>○総合事業利用の推進</li> </ul>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自立支援に向けたケアマネジメントの実施</li> <li>○総合事業介護予防ケアマネジメント運用マニュアルに基づいたマネジメントの実施</li> <li>○益田市ケアマネジメント連絡会へ出席し、地域・高齢者支援事業について情報収集する</li> <li>○総合事業の実施主体との関係をつくり、ケアマネジメントに活用できる</li> <li>○公正性・中立性を保った居宅介護支援事業所へのケアマネジメント委託</li> <li>○委託居宅介護支援事業所への総合事業住民主体サービス等の活用の働きかけ</li> <li>○アセスメント（主に健康管理等）における要点について情報提供</li> <li>○研修受講により職員のスキルアップを図る</li> </ul>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運用マニュアルに基づいたマネジメントの実施</li> <li>・総合事業説明会へ参加</li> <li>・種地区住民主体サービス担当者と連携、ケアプラン作成</li> <li>・居宅介護支援事業所へケアマネジメント委託 12事業所</li> <li>・研修受講（感染症対策、虐待防止、難病、福祉用具）</li> <li>・電子申請届出システム説明会へ出席</li> <li>・実績件数 660件（内委託 463件）</li> </ul> <p>内訳 介護予防支援:397件 介護予防ケアマネジメント:263件 事業対象者:84件 要支援1:306件 要支援2:270件</p>
⑤圏域地域ケア会議	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○定例型地域ケア会議と第二層協議体（隨時型地域ケア会議）の開催</li> <li>○地域課題について適切な会議体への繋ぎ</li> </ul>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○4地区（安田・鎌手・種・北仙道）毎に民生委員や生活支援コーディネーター等の出席を得て地域ケア会議を開催し、地域課題の検討、課題解決や資源開発に向けた取り組みを行う</li> <li>○第二層協議体と合同で、各職（公民館長、地域魅力化応援隊、地域マネージャー、専門職、行政）を招集した地域ケア会議を開催し、住民主体の移動支援サービス（訪問型サービス・活動D）を創出する</li> <li>○挙がった地域課題が解決困難な場合は、益田市地域ケア推進会議や各種会議体へ繋ぐ</li> </ul>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北仙道地区地域ケア会議を開催</li> <li>・第二層協議体と地域ケア会議を合同開催し（5回）、住民主体の移動支援サービス（訪問型サービス・活動D）の創出に向けて取り組んでいる。</li> </ul>
⑥任意事業・その他	<p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住み慣れた自宅生活継続のため、住宅改修の支援</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○運営に関する会議への出席</li> <li>○苦情への適切な対応</li> <li>○個人情報の保護と適切な取り扱い</li> <li>○フレイルの早期発見・早期対応</li> <li>○地域住民へ人生会議（ACP）の推進</li> </ul>	<p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住宅改修の相談・手続き支援</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○益田市介護保険運営協議会への出席</li> <li>○益田市地域ケア推進会議への出席</li> <li>○益田市地域ケア個別会議への出席</li> <li>○益田市地域包括支援センター連絡会議・管理者会議へ出席し、市との連携を図る</li> <li>○苦情受付と職員間で改善への取り組みの検討</li> <li>○個人情報の漏洩がないよう業務環境の点検</li> <li>○地域での広報活動や講演依頼等の対応</li> <li>○島根県立石見高等看護学院講師</li> <li>○養護老人ホーム入所判定委員の委嘱</li> </ul> <p>—フレイル—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○フレイル予防について住民への啓発</li> <li>○高齢者サロンや集いの場において、フレイル予防の啓発（民間企業の資源活用を検討）</li> <li>○津田健康体操教室の自治会運営の後方支援（安田）</li> <li>○東部圏域の通いの場（体操以外の趣味活動）の情報集約と、ケアマネジャー等への情報提供</li> </ul> <p>—人生会議（ACP）—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○パンフレットを用いた地域住民への啓発</li> </ul>	<p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修の相談・手続き支援の対応</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市介護保険運営協議会へ出席</li> <li>・益田市地域ケア個別会議へ出席</li> <li>・益田市地域包括支援センター連絡会議へ出席</li> <li>・島根県地域包括支援センター連絡会へ出席</li> <li>・講演対応（安田・鎌手）</li> <li>・島根県立石見高等看護学院学生の地域包括ケアシステムのヒアリング対応</li> <li>・島根県立石見高等看護学院講師</li> <li>・養護老人ホーム入所判定委員の委嘱</li> <li>・益田市対話十へ参加</li> </ul> <p>—フレイル—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の通いの場において、フレイル予防の講座を実施</li> <li>・津田健康体操教室の後方支援の継続</li> <li>・通いの場（体操以外の趣味活動）の情報集約</li> </ul> <p>—人生会議（ACP）—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通いの場等でパンフレットの配布</li> </ul>

事業項目	令和7年度事業 重点項目	令和7年度 事業計画	令和7年度 実績報告（上半期分）
① 総合相談支援業務	<p><b>【総合相談】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、センターの役割・機能周知のための広報活動継続</li> <li>・身近な相談窓口として啓発の実施、</li> <li>・複雑化・複合化・多様化・重層化したニーズ、問題に対し、専門性を活かした相談の場とする</li> </ul> <p><b>【地域包括支援ネットワークの構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域関係機関との既存ネットワークの活用と社会資源を意識した新たなネットワーク構築への取組み</li> <li>・属性別の支援体制では、複合課題や狭間のニーズへの対応が困難という実情を踏まえ、重層的支援体制整の一翼を担う（「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」）</li> <li>・インフォーマルサービスの把握、利用促進</li> <li>・医療、介護、障害、生活困窮、児童等の各分野の関係機関との相互関与（地域住民や多様な主体が協働して地域福祉を推進・地域住民が抱える課題が複雑化・複合化する中、従来の支援体制の見直し）</li> </ul> <p><b>【実態把握】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の生活環境に沿った地域実態の確認への取組み</li> <li>・地域の自主性や主体性などを把握し地域の特性に応じた対応</li> <li>・益田市と連携し圏域の高齢者や地域の状況を把握する</li> </ul>	<p><b>【総合相談】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設、金融機関、クリニック、調剤薬局、公民館・集会場などへチラシを配布、掲示、置きビラ</li> <li>・多面的な相談内容となるよう、適宜コンサルティングができるようなネットワークづくり、資料収集・整理・活用、多職種連携を図る</li> <li>・研修や勉強会などに参加しスキルアップを図る</li> </ul> <p><b>【地域包括支援ネットワークの構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政との連携、協働</li> <li>・公民館等を訪問し地域関係者との連携を図る</li> <li>・地域住民や地域団体を対象に、介護予防に関する制度やサービス、取組について説明、周知、啓発する機会を設ける（活動主体となる地域の住民に向けて周知・啓発を最優先とした、特に、キーパーソンとなる、民生・児童委員、老人クラブ連合会、自治会長、市内ボランティアなどを対象とする）</li> <li>・インフォーマルサービスの把握、利用促進（民生委員・自治会・ボランティアなどインフォーマルな支援）</li> <li>・ケースを通じた関係機関とのネットワークづくり（コンサルティングを意識）</li> <li>・行政との連携強化。新設された総合支援課との協働（重層的支援体制整備）・“ひとまる会議”開催要請、支援方針協議</li> </ul> <p><b>【実態把握】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援コーディネーター、民生・児童委員、公民館、ボランティア団体、警察との連携</li> <li>・認知症カフェ、百歳体操、軽スポーツ教室、各地区イベントへの参加にて情報収集</li> <li>・益田市ニーズ調査の活用</li> </ul>	<p><b>【総合相談】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関、介護関連施設、障害分の関係機関より隨時相談を受け対応している</li> <li>・ひとまる会議、コア会議開催要請・実施し、情報交換・共有や具体的対応の検討を行っている</li> <li>・高齢者の対応のみならず、顕在化してきた複合的・重層的・多様化、複雑化する問題を抱える世帯に対して支援を分野横断的に多機関で連携や支援を理解、促進するべく努力をしている。包括的支援体制・重層的支援体制など強く意識し、新設された益田市総合支援課との積極的な連携を図り信頼関係の醸成を図っている</li> <li>・引き続き当センターの周知広報に努めた。圏域内ショッピングセンター・金融機関・保健所・公民館などへチラシを配布、配架。実験的に、集合住宅へチラシポスティングを行った。</li> <li>・個別の相談対応を通じ、医療・介護を中心とした行政をはじめとした関係機関、民生・児童委員及び地域住民との連携や理解を深めるよう努力している</li> </ul> <p><b>【令和7年度上半期実績】</b></p> <p>総合相談新規相談件数 総数：162件 27/月平均 総合相談 総数（延数）：2814件</p> <p><b>【地域包括支援ネットワークの構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館訪問、地域行事・イベントへの参加、益田市保健センターの健康教室、益田市社会福祉協議会の講座・サロンなどへ参加。相談ブースを設け当センターの周知に加え、地域の課題・事例の発掘に努め、一定程度の成果はあったと考えている。今後も引き続き、地域住民、行政その他との連携を密にし、また、比較的協力的な民生・児童委員、自治会長などへの同行や自宅訪問など行い信頼関係醸成に努めていく</li> <li>・第2層生活支援コーディネーターとの連携</li> <li>・地域ケア会議は実施できていないが、益田公民館・豊川公民館との適宜情報交換やイベント、トピックスなどに対して協議する場は設けることができている</li> </ul> <p>可能な限り、認知症カフェ、100歳体操、認知症サロンなどへ訪問、参加をしている（継続的に、約15ヶ所程度）</p> <p><b>【実態把握】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援コーディネーター、民生・児童委員、公民館、ボランティア団体、警察などと適宜情報交換、連携を行いながらケースに対処している</li> <li>・認知症カフェ、百歳体操、軽スポーツ教室、各地区イベントへの参加にて情報収集を行っている</li> </ul>

<p><b>②権利擁護業務</b></p> <p><b>【高齢者虐待への対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や関係機関からの相談や通報への適切な対応</li> <li>・相談・通報への早期対応、迅速なチーム支援への移行</li> </ul> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別事例に対する多角的視点でのチーム対応</li> <li>・関連専門職や関係機関との連携、コンサルティング</li> <li>・生活困窮者自立支援事業、日常生活自立支援事業、成年後見制度利用支援事業の活用、及び、日常生活自立支援事業より成年後見制度への適切な移行</li> </ul> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談事例を通じた消費者被害防止への対応</li> <li>・消費者被害予防の啓発</li> </ul> <p><b>【広報・啓発活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症・権利擁護、人権に関する各種イベント、研修への参加</li> </ul>	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と相互に連絡、協力、協働、支援が行える体制の構築（重層的支援体制整備事業）</li> <li>・民生・児童委員と情報交換・共有</li> <li>・コア会議の積極的開催要請、支援方針協議</li> </ul> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市権利擁護推進会議への出席</li> <li>・益田市中核機関、認知症疾患医療センター、法律関係専門職との連携</li> <li>・認知症初期集中支援チーム活用</li> <li>・認知症地域支援専門員との関係づくり、連携・協働</li> <li>・益田鹿足成年後見センター定例会への出席</li> <li>・石西権利擁護推進センターとの情報交換体制の構築</li> <li>・権利擁護に関する業務、成年後見制度等のコンサルティングを行う事業所・専門職の確保の是非、可否検討</li> <li>・益田市社会福祉協議会（あんしん生活支援センター）との連携強化</li> <li>・医療機関との連携</li> </ul> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警察、消費生活センター等関係機関との連携</li> <li>・国民生活センター・長寿社会開発センターより資料（チラシ、資料、研修情報 etc.）入手、啓発活動や勉強会等に活用</li> </ul> <p><b>【広報・啓発活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症関連の研修、イベントへの参加と関与</li> <li>・キャラバン・メイトとしての活動</li> <li>・“認知症の人と家族の会（益田地区）”との交流、情報交換</li> <li>・“おしゃべりカフェ”参加</li> <li>・国民生活センター・長寿社会開発センターより資料（チラシ、資料、研修情報 etc.）入手、啓発活動や勉強会等に活用</li> <li>・成年後見制度に関する研修、イベントへの参加と関与</li> </ul>	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者虐待に係る相談・通報に対し隨時対応を行った。医療機関、民生・児童委員、介護施設等より相談を受け、状況や周辺状況に配慮しつつ行政と連携し進めている</li> <li>・コア会議複数回開催要請、実施</li> </ul> <p><b>【令和7年度上半期実績】</b></p> <p>高齢者虐待に係る対応件数：2件（新規）</p> <p><b>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合支援課との協働、益田市コア会議、ひとまる会議での協議、検討など積極的に行い情報共有をし、適宜介入している</li> <li>・認知症に関する圏域内の研修会には、ほぼ出席をしている。その他講演や勉強会にも積極的に出席している</li> <li>・認知症疾患医療センターへの相談（トレジャー（水曜検討会））を適宜行っている。</li> <li>・益田鹿足成年後見センターへの定期参加</li> <li>・益田市総合支援課、益田鹿足成年後見センター、NPO 石西権利擁護推進センターと情報交換、相談を適宜行い、必要に応じて適切な対処ができるよう意識しており、一定程度の関係性は構築できた</li> <li>・日常生活自立支援事業利用につなぐことが難しく対応に難渋している</li> </ul> <p><b>【令和7年度上半期実績】</b></p> <p>成年後見制度申請件数：2件（新規）</p> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おしゃべりカフェ参加、認知症サロン訪問を行っている</li> <li>・警察、消費生活センター等関係機関との連携を模索、会議や研修会など行い関係性の構築を図っている</li> <li>・相談事例を通じて日常生活自立支援自立支援事業、成年後見制度利用など適宜検討している</li> <li>・権利擁護の実務を行う法律関係専門職に対するコンサルテーション・ネットワークを駆使し判断能力を欠く常況にある人への直接的、間接的支援を行っている。</li> </ul> <p><b>【広報・啓発活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おしゃべりカフェ参加、認知症サロン訪問を行っている</li> <li>・キャラバン・メイトとしての活動</li> <li>・国民生活センター・長寿社会開発センターより資料（チラシ、資料、研修情報 etc.）入手、啓発活動や勉強会等に活用</li> <li>・成年後見制度に関する研修、イベントへの参加と関与</li> </ul>
---	--	--

<p><b>③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</b></p> <p><b>【関係機関の連携体制構築支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーマル・インフォーマル或いは介護予防サービス・介護サービス、医療サービスなど包括的にケアマネジメントが提供できるよう</li> </ul> <p><b>【介護支援専門員に対する支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員からの相談への対応、個別支援・後方支援</li> <li>・フォーマル・インフォーマルサービス等の社会資源（担当者）との連携、協働</li> <li>・高齢者の心身の状態や生活環境などの変化に応じて、適切な支援やサービスを組み合わせて提供</li> <li>・ケースを通じて、個々の介護支援専門員に対し、ケアマネジメント力向上支援を実施</li> </ul> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のケアマネジメント力向上のための連携</li> <li>・地域の介護支援専門員同士のネットワーク構築</li> </ul>	<p><b>【関係機関の連携体制構築支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動、NPO 等によるサービス提供、地域の助け合いなどのインフォーマルサービスと協力・連携できる体制づくり、</li> <li>・地域におけるインフォーマルサービスの開発やネットワーク化などインフォーマルサポート機能の強化</li> <li>・既存のインフォーマルサポート機能の連携強化、活性化</li> <li>・医療機関との連携</li> </ul> <p><b>【介護支援専門員に対する支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三職種、プランナーと夫々の専門性を発揮しケアプランに反映させる</li> <li>・介護支援専門員からの適宜相談対応、事例検討会、ケアカンファレンス開催。コンサルテーション、ネットワーク活用</li> <li>・ケアマネジメント支援研修の実施、</li> <li>・（当センターにおいては）法定業務と法定外業務の明確な区分けを行い、事務的な業務については、事務職員へのタスクシフト促進を図る</li> </ul> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員支援研修の協働・協同。市町村や介護支援専門員の職能団体とともに企画開催</li> <li>・介護支援専門員連絡協議会など職能団体への協力</li> <li>・主任介護支援専門員同士のネットワーク構築</li> <li>・ケースによっては必要性を勘案し可能な限り協力して支援にあたる</li> </ul>	<p><b>【関係機関の連携体制構築支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォーマルサービスの検索、積極的な利用、フォーマルサービスとの関係性や役割分担の明確化を図る</li> <li>・医療機関との情報交換を密にする、支援に必要な情報収集を行う（入院時、退院時情報提供書等）</li> </ul> <p><b>【介護支援専門員に対する支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三職種、プランナーと夫々の専門性を発揮し適宜カンファレンスを行いケアプラン作成に反映させるよう努めている</li> <li>・コンサルテーション、ネットワークの技術を駆使し周辺領域の情報も取り入れながらケアプラン作成を行うよう努めている</li> <li>・総合相談の必要なケースに対しては、ケアマネジャーも含め伴走型支援を行なうようにしている</li> <li>・事務員の業務精査中、移行可能な業務は隨時移行している</li> </ul> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員支援研修へ総合相談担当も参加し顔の見える関係性構築を目指し努力をしているが、今のところ、具現化されてはいない</li> </ul>
<p><b>④介護予防ケアマネジメント</b></p>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援・重度化防止に向けたアセスメント力を高める</li> <li>・要支援者・事業対象者自身がセルフケアへの理解をする働きかけ、同時に家族への働きかけ</li> <li>・介護予防ケアマネジメントから地域課題を探る</li> <li>・フレイルに着目、「可逆性」があるということを踏まえ、ケアプランを作成する。</li> </ul>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合事業 介護予防ケアマネジメント運用マニュアルに基づいたマネジメントの実施</li> <li>・利用者本位の選択、社会資源を活用、利用者の能力、家族に対する支援の重要性を強く認識したケアマネジメント</li> <li>・周辺領域の知識習得、コンサルテーション、ネットワークにより、より充実したケアマネジメントを行う</li> <li>・委託先居宅介護支援事業所への住民主体サービスの活用の働きかけ</li> <li>・医療・介護の専門職以外の者でも適切な対応が可能となるよう、各サービスや事業等の利用に関する</li> <li>・フレイルの概念、重要性の啓発。適切なアセスメント、介入</li> <li>・公正・中立性を担保しての居宅介護支援事業所への委託</li> </ul> <p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防ケアマネジメント運用マニュアルに基づいたマネジメントの実施</li> <li>・介護予防支援事業の実務を疎々と行っている。昨年度1月・本年度6月に夫々、社会福祉士、プランナーの入職があり、人数的には想定に近づいたが、経験不足ということもあり組織社会科・質の担保はこれからである。</li> <li>・委託居宅介護支援事業所との連携も分離前の事務処理を踏襲し各種請求業務など大きな問題もなく行なうことができている</li> <li>・介護保険サービス利用者希望者の動向など不透明であり、行政との協働が不可避・不可欠と考える</li> </ul> <p><b>【令和7年度上半期実績】</b></p> <p>介護予防支援事業所取扱件数:1602 件 267/月平均(委託:1027 件 171/月平均)</p> <p>事業対象:70 件 要支援 1:848 件 要支援 2:684 件</p>

<b>⑤圏域地域ケア会議</b>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の実情・特性をから、定時型圏域地域ケア会議実施に向けた環境整備、随時型圏域地域ケア会議の実施</li> </ul> <p>現時点では、圏域内の共通課題抽出は困難と判断し圏域内4地区毎での地域ケア会議を想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題の抽出</li> </ul>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内4地域ごとの圏域地域ケア会議開催</li> <li>・地域課題の検討、問題解決や資源開発・発掘</li> <li>・個別ケースを通じた随時型圏域地域ケア会議の開催</li> <li>・公民館との連絡を密にし、必要に応じて、益田市、生活支援コーディネーター、民生・児童委員、その他必要と認める者等の会議への参加要請</li> <li>・通所型サービスC、訪問型サービスC（短期集中予防サービス）利用促進を図る</li> <li>・住民主体の移動支援の実情把握、仕組みの検討</li> </ul>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性上、圏域内での共通課題の抽出は困難であるため、当面は、各地区（4地区）において地域ケア会議を行っていくこととしているが、実施には至っていない（適宜、各公民館との連携の中で実施に向け検討・調整を行っている）</li> <li>・益田公民館・豊川公民館においては、トピックス、イベントなどに對し、適宜、情報収集・交換、協議をする場は設けることができている（5回程度開催）</li> <li>・公民館、生活支援コーディネーターとの情報交換</li> <li>・9月益田市社会福祉協議会主催、益田地区ふれあい・いきいきサロン連絡会発足（定期開催）初回参加、益田公民館地域課題検討会定期開催参加、・10月より廃止される石見交通美都線の代替交通案として乗り合いタクシーに関して協議した</li> <li>・通所型サービスC、訪問型サービスC（短期集中予防サービス）利用には至っていない。</li> </ul>
<b>⑥任意事業・その他</b>	<p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住み慣れた場所で自分らしい暮らしを継続できるよう住宅改修などの支援をする</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター運営に関する会議への出席</li> <li>・苦情への適切な対応</li> <li>・個人情報保護と適切な取り扱い</li> <li>・人生会議ACPの啓発</li> <li>・フレイルの概念、重要性の啓発、早期発見、介入</li> <li>・スタッフの量・質の確保、充実</li> </ul>	<p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修の相談、手続き支援継続。住宅改修後の生活の評価を体系立てて行う</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市介護保険推進協議会出席</li> <li>・益田市地域包括支援センター連絡会議・管理者会議出席</li> <li>・益田市地域ケア推進会議出席</li> <li>・益田市地域ケア個別会議出席</li> <li>・島根県立石見高等看護学院非常勤講師</li> <li>・公共職業訓練介護職員初任者研修課程講義（島根県西部）</li> <li>・適切な苦情受付、組織内での共有、改善への対処、毅然とした対応</li> <li>・個人情報漏洩がないような環境調整、意識の醸成</li> <li>・ACP資料を利用し地域住民への啓発活動を行う</li> <li>・ネット輪一ク出席（事例検討会）、益田市健康増進課</li> <li>・フレイルの概念、重要性の啓発（益田市保健センターと協働）</li> <li>・スタッフの質・量的な確保</li> <li>・スケールメリットを活かした募集、人事異動。研修やイベントへの参加による自己啓発</li> </ul>	<p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修後の生活の評価を行い適時適切に申請、改修後、訪問し確認、評価をしている</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市介護保険推進協議会出席</li> <li>・益田市地域包括支援センター連絡会議・管理者会議出席</li> <li>・益田市地域ケア推進会議出席</li> <li>・益田市地域ケア個別会議出席</li> <li>・島根県立石見高等看護学院非常勤講師</li> <li>・管理者は各会議に出席し、センターの実情について報告を行い今後の課題抽出、顕在化に努めているとともに、各専門職は各種研修等に参加し資質向上に努めている。</li> <li>・各公民館訪問、地域行事・イベント・サロンなど積極的に参加し、当センターチラシ、ACP資料、フレイルチラシなど配布、説明</li> <li>・益田医師会病院医療介護連携統括部実施の“あんきな座談会”を利用（当センター主催、2回開催）した。暫時、地域の勉強会・講演・セミナー等計画している</li> </ul> <p>生活支援体制整備事業、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりのため第2層会議に参加し、生活支援コーディネーターと協働し現状把握に努め必要なインフラの検討を行っている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の量的確保はある程度行えたが、質の担保ができているとはいえない状況である。組織内職員・有資格者から希望者を募る、教育プログラムを作るなど体系立てて人材教育・育成に努めている</li> <li>・益田市医師会訪問看護ステーションと“みんなの保健室”共催←現在、休止中</li> </ul>

事業項目	令和7年度事業 重点項目	令和7年度 事業計画	令和7年度 上半期実績報告
①総合相談支援業務	<p>【総合相談】 地域住民等すべての人々の人権と尊厳を尊重して、本人の自己決定と自己選択に配慮した相談支援を行う 特に、認知症の方やそのご家族への相談や周知活動、独居の方の生活の不安、フレイル予防の相談や周知活動に取り組む また、多様化・複雑化する地域課題や生活課題を適切に把握できるよう、関係機関と連携して取り組むとともに、各種研修会等に参加し、自己研鑽や情報収集を図る</p> <p>【地域包括支援ネットワーク構築】 圏域の公民館、サロン、各種会議に参加させて頂き、センターの業務の周知を図るとともに地域課題の把握や解決に取り組む また、小集会所単位にケアパスを持って「楽しく」をモットーに認知症の取り組みの啓発活動を行いながら、ネットワーク構築を図る</p> <p>【実態把握】 圏域公民館や民生委員、生活支援コーディネーターから、地域住民の抱える課題を情報共有し、実態を把握していく。</p>	<p>【総合相談】 ・アウトリーチによる丁寧な相談対応 ・益田市認知症ケアパスの活用 ・障害福祉サービス等他制度利用者や 8050 等重層的な課題を抱える方への相談支援を関係機関と実施</p> <p>・重層的なケースや困難ケースなど事例提出を行いひとまる会議での相談や活用</p> <p>・早助や見守りサポートなど活用して高齢者(独居・高齢者夫婦など)の安心や徘徊高齢者との同居家族の安心支援 ・人生の終活活動(ACP)について相談・説明 ・市の地域支援事業利用の援助</p> <p>・支援会議などに参加 ・市内・市外問わず病院や施設との連携</p> <p>・水曜ケース検討会や弁護士相談会等への参加 ・相談面接技術や認知症、フレイルについての研修会等への参加</p> <p>【地域包括支援ネットワーク構築】 ・圏域公民館や社会福祉協議会との連携(行事予定を事前に把握し計画的に参加し交流を図る) ・益田保健所と連携し病気を抱える方達の集いの場所などの活用 ・圏域へ出向き包括支援センターのパンフレット、グッズなど配布など行い啓発活動 ・民生委員との顔の見える関係つくり(民生委員との交流の機会) ・圏域サロンや集い、認知症カフェ、百歳体操等公民館活動へ参加、</p> <p>・障がい者分野の事業所との連携 ・行政の各課との連携</p> <p>・地域共生社会について研修参加や報告会を行う</p> <p>【実態把握】 ・第二層協議体と連携し圏域 6ヶ所の公民館への訪問、情報交換 ・社会福祉協議会開催の第2層協議会に参加</p>	<p>【総合相談】 ・新規総合相談 184 件(内電話 165 件) 相談形態 電話 89% →訪問しての件数 108 件 男性:36% 女性:63% 不明:1% 後期高齢者:64% 独居または高齢者のみの世帯:52% 介護保険サービスを紹介し解決できた等、相談のあった月で解決したケース:35% 権利擁護や認知症、家庭支援等、解決を相談受付次月以降に持ち越すケース:83% 複雑化に関連し解決に困難なケースが増えてきている ・ひとまる会議 5/2・6/2・7/14・7/31・9/4・9/11・9/24</p> <p>・早助設置の援助及び見守りサポートの説明(実質利用者なし)</p> <p>・「思いをつなげるシート」の配布と活用</p> <p>・支援会議 6/20、6/25(社協)5/22、7/11、8/21(市) ・県外の急性期病院との連携及び老健、特養施設入所などの援助 ・松ヶ丘病院入院患者の地域意向に向けた検討会 「長期入院が懸念される方の入院中からの支援」について 8/26</p> <p>・水曜ケース検討会 7/2(松ヶ丘) ・認知症予防体操に参加</p> <p>【地域包括支援ネットワーク構築】 ・各西部圏域公民館へ挨拶・包括紹介など 高津公民館 4/14 横田公民館 4/15 小野公民館 4/17 二条、中西、美濃公民館 5/1 ・高津民生協議会議(高津中学校教員含む)に参加 6/17 ・高津地区福祉ネットワーク推進会議参加 7/16 ・美濃・二条合同民生協議会に参加 8/18 ・西益田地区民協議会に参加 9/18</p> <p>・障がい者相談支援事業所、精神科病院、との連携 ・高次機能障がい者支援事業研修に参加 5/23</p> <p>・地域共生社会推進セミナー研修参加 7/6 ・地域共生社会包括内職員研修 8/19 ・しまねの地域包括ケアセミナー参加 8/27</p> <p>【実態調査】 ・西部圏域支え合い協議体(2層協議体)事前打ち合わせ(社協:鍛治畑さん) 4/16、6/12、 ・西部圏域支え合い協議体(2層協議体)中西地区 5/20 ・" 美濃地区 7/15</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政機関からの情報収集、地域の実態や課題の把握</li> <li>・障がい者の支援センターとの情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ " "</li> <li>・支援会議などに参加 6/11、8/27(ラボール宝生苑)</li> </ul>	
②権利擁護業務	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b> 相談、通報があった時点で、地域包括推進係と連携し、初動期対応、協働、早急な終結に向け取り組む。 また、未然防止のため、地域での周知活動に取り組む。</p> <p><b>【判断能力を欠く状況にある人への支援】</b> 高齢者の成年後見制度の利用、日常生活自立支援事業の活用、また、認知症の方やその家族から相談に、関係機関と連携しながら対応する。特に、認知症の方が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、認知症カフェのような、アットホームで楽しい啓発活動に取り組む。</p> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b> 個別の事例に対し、被害回復や再発防止に向け、関係機関と連携し相談対応を行うとともに、防止に向けた周知活動に取り組む。</p> <p><b>【広報・啓発活動】</b> 高齢者虐待の防止や成年後見制度・日常生活自立支援事業の紹介、消費者被害の防止のため、周知活動を行う。</p>	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b> ・高齢者虐待または疑われる事例への迅速な対応 ・虐待防止コア会議への事例提出、支援体制検討 ・虐待防止研修会等への参加 ・集いの場等での周知活動</p> <p><b>【判断能力を欠く状況にある人への支援】</b> ・成年後見についての相談には、地域包括推進係や益田・鹿足成年後見センターと連携して対応 ・日常生活自立支援の相談については社会福祉協議会と連携して対応 ・障がい者については益田市基幹相談支援センターなどとの連携 ・圏域のサロンや集いに出向き啓発活動や相談支援に取り組む ・地域の認知症カフェへの参加・交流 ・法人内の認知症カフェ開催 ・キャラバンメイト研修等の受講 ・認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員との連携 ・水曜ケース会議を活用 ・益田鹿足成年後見センター運営会議・定例相談会への参加</p> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b> ・消費者センターや消費生活センターと連携し対応 ・弁護士による無料相談活用への支援 ・集いの場等で予防のための周知活動 ・パンフレットやグッズ配布などで啓発活動</p> <p><b>【広報・啓発活動】</b> ・年度初めにセンターの周知に合わせ、認知症の理解や権利擁護についての紹介のチラシやグッズ等作成、配布 ・地域の各機関と連携し、様々な機会を通じ、情報発信</p>	<p><b>【高齢者虐待への対応】</b> ・高齢者虐待コア会議 5/13、5/26、6/12、6/27・8/4・8/14、9/9 ・高齢者虐待に関する研修会参加 7/17(施設内研修)</p> <p><b>【判断能力を欠く状況にある人への支援】</b> ・高次機能障がい者支援研修会参加 5/23 ・認知症基本法時代の尊厳を守るポジティブ医療・ケア 8/31 ・法人内ことめちゃんカフェ(認知症カフェ)参加 ・水曜ケース検討会 7/2(松ヶ丘) ・益田・鹿足後見センター運営協議会、定例相談会参加(奇数月)</p> <p><b>【消費者被害の防止及び対応】</b> ・最近の消費者トラブル事例とその対策について研修 6/16</p> <p><b>【広報・啓発活動】</b> ・各西部圏域公民館へ挨拶・包括紹介など 高津公民館 4/14 横田公民館 4/15 小野公民館 4/17 二条、中西、美濃公民館 5/1</p>

<p><b>③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</b></p>	<p><b>【関係機関との連携体制構築支援】</b> 介護支援専門員やサービス提供事業者、行政機関、民生委員、インフォーマルな支援者等とのネットワークの構築をする。 介護支援専門員との連携を深めるため、各事業所に訪問し、意見などを収集し地域包括ケア推進のための連携を深める。</p> <p><b>【介護支援専門員に対する個別支援】</b> 利用者にとって最善のケアマネジメントが提供されるよう、介護支援専門員に寄り添い、事例ごとに指導や助言を行う。 また、ケアマネジメント支援研修を市とともに開催し、ケアマネジメントの質の向上を図る。</p> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b> 各事業所の主任介護支援専門員と連携し、介護支援専門員等の知識、技術の向上を図る。 また、主任介護支援専門員同士で協力し、指導力向上、共通理解、地域づくりを行う。</p>	<p><b>【関係機関との連携体制構築支援】</b> ・居宅介護支援事業所やサービス提供事業者等と顔の見える関係作り ・介護支援専門員との信頼関係作り、交流 ・介護支援専門員連絡会への参加  ・まだ福祉医療ネットワークへの参加(奇数月) ・介護予防ケアプランのチェック時等の機会を有効に活用し、介護支援専門員や介護予防支援員から地域住民の抱える課題を情報収集 ・益田市地域ケア会議、地域ケア個別会議への参加(開催月)</p> <p><b>【介護支援専門員に対する個別支援】</b> ・介護支援専門員が作成したケアプランを確認、評価  ・援助に困難を感じている介護支援専門員へ助言、後方支援 ・ケアマネジメント支援研修の企画、案内(知識習得研修は 5 つのセンターで担当) ・SV 型の事例検討を活用する</p> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b> ・ケアマネジメント支援研修会の協働企画運営 ・主任介護支援専門員フォローアップ研修会の企画運営 ・主任介護支援専門員との連携により地域の介護支援専門員等のケアマネジメント実践を支援する ・研修会や会議への参加を通じ、連携強化</p>	<p><b>【関係機関との連携体制構築支援】</b> ・委託先居宅介護支援事業所の介護支援専門員のケアプラン確認時に担当するケースの話を聞く  ・まだ福祉医療ネットワーク 5/21、7/16  ・益田市地域ケア個別会議 5/30</p> <p><b>【介護支援専門員に対する個別支援】</b> ・主任介護支援専門による委託先の居宅介護支援事業のケアプラン確認 4月:26 件 5月:24 件 6月:27 件 7月:21 件 8月:31 件 9月:8 件 ・主任介護支援専門による直営のケアプラン確認 4月:19 件 5月:25 件 6月:25 件 7月:16 件 8月:15 件 9月:20 件  ・居宅介護支援事業所の介護支援専門員の担当している困難ケースの後方支援 ・主任介護支援専門員による介護支援専門員研修会議に定期的に参加</p> <p><b>【主任介護支援専門員との連携】</b> ・個別地域ケア会議の事例を提出 ・個別地域ケア会議(全大会)参加 5/30  ・難病(パーキンソン病)の特性についての研修参加 9/12 ・カスタマーハラスメント対策研修参加 9/24</p>
------------------------------------	--	--	---

④介護予防ケアマネジメント	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b>          利用者とともに、自立を支援し、自己決定と自己選択に配慮したケアプランを作成する。          また、地域の様々な社会資源を可能な限り情報収集して活用し、地域での生活を支援するプラン作成を行う。          利用者の人権と尊厳を尊重できるよう、各種研修会に参加しスキルアップとともに、多職種、関係機関との連携を大切にする。</p>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防給付及び介護予防・日常生活支援総合事業のケアマネジメントの実施</li> <li>・益田市地域支援事業及び益田市高齢者支援事業の活用支援</li> <li>・自立支援に向けたケアプラン作成</li> <li>・フォーマル・インフォーマル問わず社会資源を活用したプラン作成</li> <li>・介護予防やケアマネジメントについての会議や研修会等への参加</li> <li>・ケアマネジメント技術向上のための研修会への参加</li> <li>・多職種、関係機関との連携</li> </ul>	<p><b>【自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業対象者のプラン 189 件(内委託 45 件)</li> <li>・介護予防支援、介護予防ケアマネジメント 1,973 件(内委託 1,034 件)</li> <li>・委託事業所 市内 15 事業所</li> <li>・地域の 100 歳体操や個々の趣味活動などインフォーマルな活動を含めたプラン作成へのアドバイス</li> <li>・難病(パーキンソン病)の特性についての研修参加 9/12</li> <li>・カスタマーハラスメント対策研修参加 9/24</li> </ul>
⑤圏域地域ケア会議	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b>          地域ケア個別会議や西部地域ケア会議で事例検討等を行い、地域課題を把握する。また、益田市地域ケア推進会議へ地域課題をつないでいくとともに、関係機関や地域住民とのネットワークを強め、協働して体制作りを行う</p>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア個別会議や西部圏域ケア会議で自立支援・重度化防止に取り組む</li> <li>・地域課題を把握し、地域ケア会議を活用して改善に取り組む。</li> <li>・地区の民生・児童委員など地域の方個々に包括を高齢者の相談場所としての認識及び活用しやすさがあるかなど違いがみられる為民生・児童委員の意識調査に取り組み地域ケア会議に活かしていく</li> <li>・事例に合わせ、柔軟に参加者を調整し、多様な意見を出し検討</li> </ul>	<p><b>【圏域地域ケア会議の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高津民生協議会議(高津中学校教員含む)にて 6/17</li> <li>・西部圏域支え合い協議体(2層協議体)美濃地区にて(社協と共に) 7/15</li> <li>・美濃・二条合同民生協議会に参加にて 8/18</li> <li>・西部圏域支え合い協議体(2層協議体)二条地区にて(社協と共に) 9/17</li> <li>・地区の後継者、担い手不足が課題</li> </ul>
⑥任意事業・その他	<p><b>【任意事業】</b>          住宅改修支援事業の対象者に対し、住宅改修に関する情報提供や助言等を行い、適切な事業実施をおこなう          法人内の地域支援事業に協働する</p> <p><b>【その他】</b>          石見高等看護学校の授業、実習のスムーズな受け入れ。          公民館や協議体と連携して、各地域の実態を把握し、地域で包括的ケアをどう作っていけるか協働していく          地域包括ケアシステムのための取り組みを行う          地域包括支援業務遂行のための各種会議、研修会等への参加を積極的に行う</p>	<p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修の支援</li> <li>・認定調査の受託</li> <li>・地域交流の機会へ積極的に参加</li> <li>・法人内の地域福祉委員会と協力して地域への貢献活動(受診や買い物移送援助や講師依頼など)など行う。認知症(寿梅ちゃん)カフェの開催を協働する</li> <li>・地域の社会資源の開発に協働する</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県立石見高等看護学院の生徒実習受け入れ</li> <li>・島根県立石見高等看護学院講師派遣</li> <li>・益田市介護保険推進協議会、益田市地域ケア推進会議への参加</li> <li>・在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会への参加</li> <li>・益田圏域地域包括支援センター連絡会への出席(開催月)</li> </ul>	<p><b>【任意事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修の支援</li> <li>・認定調査研修会(新任研修)参加 5/30</li> <li>・地域の買い物支援、ことめちゃんカフェ(認知症カフェ)への手伝い</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R7 年 5 月 9 日～22 日まで:6 名 9 月 3 日～18 日まで:7 名看護学生実習受け入れ</li> <li>・益田市介護保険推進協議会参加 8/12</li> <li>・益田市医療・介護連携推進協議会参加 7/15</li> <li>・益田圏域地域包括支援センター連絡会議参加 5/15・9/19</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・島根県包括連絡会議への参加</li><li>・地域包括支援業務遂行の為の各種会議への参加</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・島根県地域包括支援センター連絡会 総会・センター長会参加 8/5</li><li>・えびす事業運営推進会議参加 6/24</li><li>・湖水園運営推進会議参加 9/12</li><li>・益田市権利擁護推進会議参加 6/25</li><li>・益田市包括的相談支援事業者意見交換会参加 7/3</li><li>・島根県社会福祉団体連絡協議会連絡調整会議参加 8/4</li><li>・島根県訪問看護支援検討会議参加 9/8</li></ul>
--	---	--

## 美都地域包括支援センター

### ●事業実績

#### 1.総合相談支援事業

##### 【目的】

地域に住む高齢者等に関するさまざまな相談を受け止め、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローするとともに、必要に応じて包括支援センターの各業務につなげていく。

##### 【実績】

###### (1)総合相談

表1 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R6 年度上期計
新規相談件数	5	1	4	9	5	7	31	22
継続相談件数	2	1	3	9	3	6	24	18
延べ対応件数	24	15	28	36	26	30	159	109

###### (2)実態把握等

表2 実態把握等実績

日付	活動内容	対応者
7月 29日	下都茂地区サロン『なかよしハウス』	海老谷 美陽子

##### 【課題】

新規受付件数、延べ対応件数共に、昨年度上期より増加している。要介護認定の代行申請の支援が多かったが、非該当となったケースも複数あった。その他、認知症に関する相談もあった。

一人暮らしの方で、遠方の家族が心配して相談があるも、本人は地域との関わりを持っておらず、どのように支援をおこなっていけば良いか苦慮している。

美都地域の高齢者サロン等への訪問は、生活支援コーディネーターを通じておこなっているが、今年度も交代があり、生活支援コーディネーター自身も一から関係を構築していく必要があり、上期は1ヶ所のみの訪問となった。

##### 【次期に向けた取組み】

引き続いて、総合相談対応、支援が必要な方の発見等のために、民生児童委員との連携や美都地域の高齢者サロン等への訪問をおこなっていく。

主任介護支援専門員の資格を取得した居宅介護支援事業所と兼務の職員は、総合相談対応についてはスキル習得を継続中。総合相談の対応を一人でおこなえるよう更なるスキルアップを目指したい。

## 2.権利擁護事業

### 【目的】

高齢者等が住み慣れた地域で尊厳のある生活と人生を維持するための、権利侵害の予防や対応、権利行使の支援を専門的におこなう。

### 【実績】

#### (1)高齢者虐待に関すること

虐待が疑われるケースの相談実績、対応実績はなし。

表1 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R6 年度上期計
通報件数	0	0	0	0	0	0	0	0
うち虐待認定件数	0	0	0	0	0	0	0	0

#### (2)成年後見に関すること

成年後見に関する相談実績はなし。

表2 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R6 年度上期計
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	0

#### (3)消費者被害等に関すること

消費者被害等に関する活動実績はなし。

表3 活動実績

日付	活動内容						関係機関	対応者
	なし							

#### (4)認知症支援に関すること

初期集中支援チームとの同行訪問、居宅介護支援事業所が担当しているケースの地域との連携、要介護認定の申請を行う前段階のご本人との関り方等、認知症支援に関して多岐にわたって相談支援をおこなった。

表4 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R6 年度上期計
相談件数	0	0	1	0	2	1	4	0

### 【課題】

昨年度同様権利擁護事業に関する相談件数が挙がっていない。例年相談件数は少なく、支援が必要な方の発見が行えていない可能性や職員の権利擁護に関する視点が不足している可能性がある。

### 【次期に向けた取組み】

権利擁護に関する支援が必要な方への早期発見・対応がおこなえるよう、関係機関との連携を図ることや制度の活用支援をおこなう。また、職員のスキルアップのため、権利擁護に関する研修への参加を積極的におこなっていく。

## 3.包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

### 【目的】

地域包括ケア推進のため、介護支援専門員が中心となって包括的・継続的ケアマネジメントを実践することができるように、直接的に介護支援専門員を支援するとともに、環境面を整備する間接的な支援を実施する。

### 【実績】

#### (1)介護支援専門員支援

地域の介護支援専門員等から相談を受け付けた際には、随時助言をおこなっている。また、美都圏域を担当区域としている介護支援専門員へ社会資源・地域課題等についての情報提供をおこなった。昨年度開催できなかった随時型地域ケア会議を、8月に開催した。

#### (2)益田市ケアマネジメント支援研修

表1 活動実績

日付	活動内容	開催場所	対応者
4月 16日	研修委員会	ますだハイツ	海老谷美陽子
5月 15日	事前協議会	益田市役所	海老谷美陽子
8月 29日	事前協議会	益田市市民学習センター	海老谷美陽子
9月 12日	益田市ケアマネジメント支援研修	医師会病院	海老谷美陽子 寺戸義昭

### 【課題】

地域の介護支援専門員等からの相談について、随時助言等をおこなっているが、ケースの困難さからどのように助言等おこなっていけば良いか悩むことが多い。

### 【次期に向けた取組み】

地域の介護支援専門員等から相談があった際には、継続して助言をおこなっていく。助言に悩む場合は、相談できる機関へ相談をおこない、適切な助言がおこなえるよう努める。必要に応じて、随時型地域ケア会議の開催を検討する。

令和7年11月に予定している益田市ケアマネジメント支援研修(SV型事例検討会)の開催に向けて、準備等おこなっていく。

## 4.介護予防ケアマネジメント事業

### 【目的】

高齢者が要介護状態等となることの予防、要介護状態等の軽減・悪化の防止をはかるために、要支援者等の状況にあった適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要な援助をおこなう。

### 【実績】

#### (1)介護予防支援

表1 納付管理実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	月平均	R6年度月平均(上期)
要支援1	2	2	3	2	1	2	2	3
要支援2	8	8	7	7	5	5	6.7	6

表2 実績過去比較(上期分)

	介護予防支援(件)	新規(件)	介護報酬(円)
令和6年度	54	1	241,680
令和7年度	52	0	229,840

#### (2)介護予防ケアマネジメント支援

表3 納付管理実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	月平均	R6年度月平均(上期)
事業対象者	1	2	2	2	2	1	1.7	1
要支援1	9	9	8	9	10	10	9.2	11.3
要支援2	7	7	7	7	7	7	7	5.8

表4 実績過去比較(上期分)

	介護予防支援(件)	新規(件)	介護報酬(円)
令和6年度	109	1	484,780
令和7年度	107	5	487,940

### 【課題】

昨年度より新規件数は増えているが、介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援件数共に減少している。

### 【次期に向けた取組み】

継続して適切なマネジメントを行い、サービス利用が必要な方が適切なサービスを利用できるよう必要な援助を行う。

## 5. 圏域地域ケア会議

### 【目的】

個別ケースの支援内容の検討を通じて、介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの質を高めることや高齢者等の実態把握及び地域包括支援ネットワークを構築する。

### 【実績】

※別紙1 参照

### 【課題】

事例検討と地域課題の把握を一体的に行っているが、進行の問題もあり、事例検討における対応策の意見が出難かったり、地域課題の検討に至らないことが多かった。

### 【次期に向けた取組み】

- ・事例検討と地域課題の把握を行うための事前準備の十分な確保は難しいが、圏域地域ケア会議を計画通り実施する。
- ・栄養面に関するチラシの作成をおこなう。

## 6. 任意事業・その他

### 【実績】

#### (1) 住宅改修支援事業

上期実績なし

表1 住宅改修支援事業実績

	利用サービス(件)	対応者
	なし	

#### (2) 益田市地域支援事業利用申請支援

上期実績なし

表2 地域支援事業利用申請支援

	利用サービス(件)	対応者
	なし	

#### (3) 益田市高齢者支援事業利用申請支援

上期実績なし

表3 高齢者支援事業利用申請支援

	利用サービス(件)	対応者
	なし	

## 7.研修・訓練・会議について

### 【目的】

各事業を推進するにあたり、職員のスキルアップを継続的に行うことで、地域包括支援センターの更なる機能強化を図る。

### 【実績】

#### (1)外部研修

※別紙2 参照

#### (2)内部研修

表1 内部研修実績

日付	内容		参加者
7月 15日	【高齢者虐待防止】高齢者虐待の種類と程度について		海老谷 美陽子 寺戸 義昭
8月 18日	【感染症対策】環境整備、入所者・職員の健康管理について		海老谷 美陽子 寺戸 義昭

#### (3)BCP訓練

表2 訓練実績

日付	内容		参加者
	なし		

#### (4)会議

※別紙3 参照

### 【課題】

夜間に開催される集合又はオンライン研修について、現状での参加の難しさがある。また、様々な研修会が開催されているが、全ての研修への参加は難しい。

### 【次期に向けた取組み】

夜間開催の研修についての参加の難しさや研修の参加については厳選していく必要があるが、職員のスキルアップのために必要な研修は参加をおこなっていく。

## 8.委員会について

### 【目的】

・事業所内及び利用者の居住地において、感染症が発生し、またはまん延しないように必要な措置を講ずるための体制を整備する。

・虐待等の発生の防止・早期発見に加え、虐待等が発生した場合はその再発を防止するための対策を検討するとともに、虐待防止に関する対策を適切に実施する。

#### 【実績】

##### (1) 感染対策委員会

事業所内にて委員会を下記のとおり開催した。

表1 感染対策委員会等開催実績

開催日	内容		参加者
6月 19日	指針、BCP、研修・訓練・取組計画について確認		海老谷美陽子 寺戸義昭

##### (2) 高齢者虐待防止委員会

事業所内にて委員会を下記のとおり開催した。

表2 高齢者虐待防止委員会等開催実績

開催日	内容		参加者
5月 22日	指針、研修、取組計画について確認		海老谷美陽子 寺戸義昭
6月 6日	益田市における養護者による高齢者虐待フローチャートについて確認		海老谷美陽子 寺戸義昭

## 匹見地域包括支援センター

### ●事業実績

#### 1.総合相談支援事業

##### 【目的】

地域に住む高齢者等に関するさまざまな相談を受け止め、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローするとともに、必要に応じて包括支援センターの各業務につなげていく。

##### 【実績】

###### (1)総合相談

対応した相談の7割が介護予防ケアマネジメント事業への移行や居宅介護支援事業所への紹介等により終結している。ケースに応じて適宜、行政保健師や地域総務課など関係機関に相談するなど、連携による対応もできている。

表1 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R6年度上期計
新規相談件数	2	4	2	5	7	2	22	20
継続相談件数	1	2	3	0	2	2	10	10
延べ対応件数	10	14	14	15	21	7	81	99

###### (2)実態把握等

地域の援助者や住民の方とのネットワーク構築、地域状況等の情報収集、センターの周知活動などを目的として、地域の援助者等が集う会議等に参加した。

表2 実態把握等実績

日付	活動内容			対応者
4月 16	生活相談委員会議(匹見タウンホール)			竹田こずえ
5月 19	市政懇談会(匹見タウンホール)			//
6月 19	匹見地域福祉委員総会・研修会(特養もみじの里)			//

##### 【課題】

・百歳体操教室など地域住民などが集う場への参加ができなかった。

##### 【次期に向けた取組み】

・計画的に地域住民などが集う場への参加をおこなっていく。

#### 2.権利擁護事業

##### 【目的】

高齢者等が住み慣れた地域で尊厳のある生活と人生を維持するための、権利侵害の予防や対応、権利行使の支援を専門的におこなう。

##### 【実績】

###### (1)高齢者虐待に関するこ

相談者である介護支援専門員とともに同行訪問等による事実確認、情報収集をおこない、総合支援課に報告した。総合支援課主催のコアメンバー会議に出席して、今後の支援の方向性など協議した。

表1 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R6年度上期計
通報件数	0	0	0	0	1	0	1	0
うち虐待認定件数	0	0	0	0	1	0	1	0

(2)成年後見制度のこと

成年後見制度等に関する相談実績、対応実績はなし。

表2 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R6年度上期計
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	1

(3)消費者被害等のこと

消費者被害等に関する相談実績、対応実績はなし。

表3 活動実績

日付	活動内容	関係機関	対応者

(4)認知症支援のこと

認知症高齢者からの頻回電話に対して、自宅訪問するなど対応した。状況や状態について、居宅介護支援事業所と共有し、今後の支援について検討した。

表4 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R6年度上期計
相談件数	0	0	0	0	1	0	1	5

【課題】

- ・匹見地域では農協をメインバンクとしている高齢者が多い。地域にある農協の店舗(匹見事業所)では窓口での出入金ができず、西益田支店での対応となる。そのため、利用料や交通費の負担がかかり、日常生活自立支援事業を活用した金銭管理支援の検討がしづらい。

【次期に向けた取組み】

- ・権利擁護に関する相談等を受け付けた際に適切な対応がおこなえるよう、適宜マニュアル等の確認をおこなう。また、研修等への参加を通じて、権利擁護に関する情報や知識等の獲得に取り組む。

### 3.包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

【目的】

地域包括ケア推進のため、介護支援専門員が中心となって包括的・継続的ケアマネジメントを実践することができるよう、直接的に介護支援専門員を支援するとともに、環境面を整備する間接的な支援を実施する。

【実績】

(1)介護支援専門員支援

地域の介護支援専門員から相談を受け付けた際には、状況整理をサポートしたり、対応等について助言したりしている。相談内容によっては、居宅介護支援事業所としての対応等の検討をサポートした。

## (2) 益田市ケアマネジメント支援研修

年3回(9月、11月、2月)開催される上記研修について、5地域包括支援センターで役割分担し、担当する研修の企画・運営をおこなっている。

表1 活動実績

日付	活動内容	開催場所	対応者
4月 16	研修委員会	西部地域包括支援センター	竹田こずえ
5月 15	事前協議会	益田市役所	//

### 【課題】

- ・介護支援専門員等からの相談ケースに対して、関係者を交えたケースカンファレンスの開催や地域ケア会議へのつなぎなど、多視点で検討する場の設定ができなかった。

### 【次期に向けた取組み】

- ・介護支援専門員による支援にかかる後方支援のほか、状況に応じて、居宅介護支援事業所としての支援展開等についての後方支援もおこなう。
- ・令和8年2月に予定されている益田市ケアマネジメント支援研修の各研修の開催に向けた準備等に取り組む。

## 4. 介護予防ケアマネジメント事業

### 【目的】

高齢者が要介護状態等となることの予防、要介護状態等の軽減・悪化の防止をはかるために、要支援者等の状況にあった適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要な援助をおこなう。

### 【実績】

#### (1) 介護予防支援

昨年度上期と比較して給付管理件数に大きな変動なし。新規利用開始に伴うケアプランの作成、認定更新及び利用サービスや支援の追加等に伴うケアプランの変更など、状況に応じたケアマネジメント業務を適切におこなうことができている。

表1 給付管理実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	月平均	R6年度月平均(上期)
要支援1	7	6	6	6	6	6	6.1	8
要支援2	15	16	17	16	16	16	16	14.1

表2 実績過去比較(上期分)

	介護予防支援(件)	新規(件)	介護報酬(円)
令和6年度	133	5	602,860
令和7年度	133	3	596,860

#### (2) 介護予防ケアマネジメント

昨年度上期と比較して給付管理件数が減少している。新規利用開始に伴うケアプランの作成、認定更

新及び利用サービスや支援の追加等に伴うケアプランの変更など、状況に応じたケアマネジメント業務を適切におこなうことができている。

表3 給付管理実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	月平均	R6年度月平均(上期)
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	1
要支援1	8	7	7	7	6	5	6.7	7.7
要支援2	4	5	6	6	6	8	5.8	10.7

表4 実績過去比較(上期分)

	介護予防ケアマネジメント(件)	新規(件)	介護報酬(円)
令和6年度	116	3	521,720
令和7年度	75	2	337,500

### (3)介護予防の推進活動

歯科診療所と協働し、「オーラルフレイル予防啓発チラシ」を奇数月に作成・発行している。地域ケア会議での協議により、今年度から全世代に向けた予防啓発活動として全戸配布を始めた。

#### 【課題】

- ・月40件の給付管理数を見込んでいたが、上期の月平均は34.7件となり、減収となった。

#### 【次期に向けた取組み】

- ・利用者や家族の状態や状況に応じて、適切な支援やサービス利用ができるよう対応する。

## 5. 圏域地域ケア会議

#### 【目的】

個別ケースの支援内容の検討を通じて、介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの質を高め、高齢者等の実態把握及び地域包括支援ネットワークを構築し、地域課題を把握する。

#### 【実績】

個別事例検討のほか、地域課題への取組案として挙がっていた「消費者被害対策」「終活」「認知症理解」についての勉強会をそれぞれ実施した。専門職のスキルアップや、専門職が地域住民や利用者に向け啓発活動ができる知識を獲得できる場として会議体を活用できている。

※別紙1 参照

#### 【課題】

- ・事例検討機会が1回のみとなつたため、事例検討を通じた地域課題の蓄積が十分にできなかつた。

#### 【次期に向けた取組み】

- ・地域課題の整理、地域課題解決に対する取り組みについての検討をおこなう。

## 6. 任意事業・その他

#### 【実績】

### (1)住宅改修支援事業

介護予防支援または居宅介護支援の提供を受けていない利用者に対して、自宅訪問をおこない、住

宅改修費の支給申請に係る理由書等を作成した。

表1 住宅改修支援事業実績

	利用サービス(件)	対応者
4月	住宅改修(1)	竹田こずえ

(2)益田市地域支援事業利用申請支援

支援実績なし

表2 地域支援事業利用申請支援

	利用サービス(件)	対応者

(3)益田市高齢者支援事業利用申請支援

支援実績なし

表3 高齢者支援事業利用申請支援

	利用サービス(件)	対応者

## 7.研修・訓練・会議について

【目的】

職員のスキルアップや関係機関等とのネットワーク形成をはかることにより、地域包括支援センターの各事業を推進し、機能強化をめざす。また、訓練等により、感染症や自然災害が発生しても業務を中断させないよう準備する。

【実績】

(1)外部研修

※別紙1 参照

(2)内部研修

居宅介護支援事業所と合同で毎月、研修テーマを設定し実施した。

表1 内部研修実績

日付		内容	参加者
4月	10	【接遇】接遇マナー	齋藤 可奈子 竹田 こずえ
5月	14	【認知症支援】軽度認知障害	//
6月	11	【権利擁護】意思決定支援の基本的考え方	//
7月	9	【個人情報とプライバシー保護】介護現場で意識すべきポイント	//
8月	12	【研修復命】しまねDWAT登録研修	//
9月	11	【ケース検討】個別支援の検討	齋藤 可奈子 西川 志摩子

(3)BCP訓練

上期における訓練実績なし

表2 訓練実績

日付	内容	参加者

(4)会議

※別紙2 参照

【課題】

- ・夜間に開催される集合またはオンライン研修、オンライン会議について、現状での参加の難しさがある。

【次期に向けた取組み】

- ・BCP訓練をおこなう。
- ・事業推進や機能強化、職員のスキルアップのために必要な研修等への参加ができるよう、業務等の調整をはかる。

8.委員会について

【目的】

- ・事業所内及び利用者の居住地において、感染症が発生し、またはまん延しないように必要な措置を講ずるための体制を整備する。
- ・虐待等の発生の防止・早期発見に加え、虐待等が発生した場合はその再発を防止するための対策を検討するとともに、虐待防止に関する対策を適切に実施する。

【実績】

(1)感染対策委員会

事業所内にて委員会を下記のとおり開催した。

表1 感染対策委員会等開催実績

開催日	内容	参加者
6月 11	指針・マニュアル、担当役割の確認等	齋藤 可奈子 竹田 こずえ

(2)高齢者虐待防止委員会

事業所内にて委員会を下記のとおり開催した。

表2 高齢者虐待防止委員会等開催実績

開催日	内容	参加者
7月 31	指針、委員会、研修会の確認等	齋藤 可奈子 竹田 こずえ